

14時30分解禁

平成25年10月 全国百貨店売上高概況

平成25年11月19日

I. 概況

1. 売上高総額	4,907億円余
2. 前年同月比	-0.6% (店舗数調整後/3か月ぶりマイナス)
3. 調査対象百貨店	85社 242店 (平成25年9月対比±0店)
4. 総店舗面積	6,238,143㎡ (前年同月比:-0.9%)
5. 総従業員数	80,854人 (前年同月比:-2.8%)
6. 3か月移動平均値	3-5月 2.1%、4-6月 3.1%、5-7月 2.1%、 6-8月 2.2%、7-9月 0.6%、8-10月 1.5%

[参考] 平成24年10月の売上高増減率は-2.4% (店舗数調整後)

【10月売上の特徴】

3か月ぶりのマイナスとなった。

今年10月は、中旬過ぎまで全国的に高い気温で推移したほか、3つの台風(24号・26号・27号)が接近・上陸するなど例年になく不順な天候であった。こうした条件の中、季節需要の低下や入店客数にも影響を受け、約4割の売上シェアを占める主力の秋・冬物衣料(衣料品:-4.2%)が低調に推移した。一方、美術・宝飾・貴金属(+19.7%)やラグジュアリーブランドを含む特選雑貨(身のまわり品:+1.6%)などの高額商材は、依然増勢を維持しているほか、月後半からの気温低下で冬物商材にも動きが出始めたものの、前半の不振を全て挽回するまでには至らず、最終的には前年実績を若干下回る結果となった。

その他当月の特徴的な動向としては、地区別で見ると改装効果や増床効果のある東京(+1.2%)・名古屋(+2.0%)・大阪(+5.7%)を中心に大都市(+0.9%)が商況全体を下支えたこと、商品別では住宅市場の活況を背景に家具(+5.4%)が3か月連続で前年をクリアしたこと、訪日外国人は、東南アジアの好調に加えて中国も国慶節休暇を機に回復傾向が見えたことで、売上・客数共に前年比2倍半(売上:+150.9%/客数:+142.3%)の伸びを示したこと、などが報告されている。

【要 因】

- (1) 天 候 : 気象庁発表「10月の天候」の特徴は以下のとおり (一部抜粋)
 - ◇ 太平洋高気圧の勢力が平年より強く、偏西風も北寄りに流れたため、全国的に記録的な高温となった。一方、台風の本土への接近数が多かった(3個)ことから、全国的に降水量が多く、日照時間はかなり少なかった。
- (2) 営業日数増減 30.9日 (前年同月比±0.0日)
- (3) 土・日・祝日の合計 9日 (〃 ±0日)
- (4) 入店客数増減 (回答店舗数で見ると傾向値/前年同月比/有効回答数131店舗)
 - ①増加した: 23店、②変化なし: 32店、③減少した: 76店
- (5) 10月歳時記(体育の日、旅行シーズン)の売上(同上/有効回答数111店舗)
 - ①増加した: 7店、②変化なし: 64店、③減少した: 40店

NEWS LETTER

全国百貨店 売上高速報 2013年10月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全 国	490,765,500	100.0	-0.6 (-1.0)
10都市	326,075,515	66.4	0.9 (0.7)
札幌	12,709,329	2.6	0.5
仙台	7,100,747	1.4	-1.6
東京	123,387,444	25.1	1.2 (0.6)
横浜	28,490,878	5.8	-0.4
名古屋	30,710,253	6.3	2.0
京都	18,945,457	3.9	-3.9
大阪	66,854,830	13.6	5.7
神戸	12,376,163	2.5	-6.5
広島	10,190,234	2.1	-7.8
福岡	15,310,180	3.1	-0.4
10都市以外の地区	164,689,985	33.6	-3.5 (-4.1)
北海道	2,935,834	0.6	-4.3
東北	8,742,717	1.8	-3.9
関東	77,640,779	15.8	-3.7 (-4.5)
中部	12,681,069	2.6	-4.7
近畿	16,298,779	3.3	-3.6
中国	11,550,043	2.4	-2.1 (-5.4)
四国	8,988,542	1.8	-2.5
九州	25,852,222	5.3	-2.8

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	490,765,500	100.0	-0.6 (-1.0)
紳士服・洋品	38,456,776	7.8	-1.8 (-2.1)
婦人服・洋品	119,399,806	24.3	-4.9 (-5.2)
子供服・洋品	11,562,302	2.4	-5.2 (-5.4)
その他衣料品	13,208,430	2.7	-3.4 (-3.7)
衣 料 品	182,627,314	37.2	-4.2 (-4.5)
身のまわり品	61,625,996	12.6	1.6 (1.3)
化粧品	26,526,498	5.4	-1.5 (-1.8)
美術・宝飾・貴金属	26,923,052	5.5	19.7 (19.2)
その他雑貨	18,983,033	3.9	0.3 (0.1)
雑 貨	72,432,583	14.8	6.0 (5.6)
家 具	6,354,701	1.3	5.4 (4.1)
家 電	1,480,002	0.3	-4.1 (-4.1)
その他家庭用品	16,066,155	3.3	-1.0 (-1.2)
家 庭 用 品	23,900,858	4.9	0.4 (0.0)
生 鮮 食 品	26,175,792	5.3	0.8 (0.5)
菓 子	28,782,778	5.9	-0.9 (-1.3)
惣 菜	29,872,615	6.1	-0.5 (-0.8)
その他食料品	37,189,554	7.6	0.6 (0.0)
食 料 品	122,020,739	24.9	0.0 (-0.4)
食 堂 喫 茶	13,482,959	2.7	-2.5 (-2.7)
サ ー ビ ス	5,845,906	1.2	1.6 (1.5)
そ の 他	8,829,145	1.8	0.0 (-1.5)
商 品 券	10,988,683	2.2	-6.5 (-6.8)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

- | | |
|------------------|--------------------------|
| 1. 10都市売上動向 | 0.9% (店舗数調整後／3か月連続プラス) |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | -3.5% (店舗数調整後／4か月連続マイナス) |

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	0.9	0.6	3か月連続プラス
札幌	0.5	0.0	3か月連続プラス
仙台	-1.6	0.0	2か月ぶりマイナス
東京	1.2	0.3	3か月連続プラス
横浜	-0.4	0.0	3か月ぶりマイナス
名古屋	2.0	0.1	3か月連続プラス
京都	-3.9	-0.2	2か月連続マイナス
大阪	5.7	0.7	12か月連続プラス
神戸	-6.5	-0.2	4か月連続マイナス
広島	-7.8	-0.2	9か月連続マイナス
福岡	-0.4	0.0	3か月ぶりマイナス
10都市以外の地区	-3.5	-1.2	4か月連続マイナス
北海道	-4.3	0.0	3か月ぶりマイナス*
東北	-3.9	-0.1	2か月ぶりマイナス*
関東	-3.7	-0.6	4か月連続マイナス
中部	-4.7	-0.1	4か月連続マイナス
近畿	-3.6	-0.1	3か月ぶりマイナス
中国	-2.1	-0.1	2か月ぶりマイナス*
四国	-2.5	0.0	4か月連続マイナス
九州	-2.8	-0.2	2か月ぶりマイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行した。(2005年までは6大都市)

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目では、雑貨が12か月連続、身のまわり品が3か月連続、家庭用品が2か月ぶりのプラス。衣料品と、食料品（－0.0％）が3か月ぶりのマイナスとなった。また、美術・宝飾・貴金属が14か月連続、その他雑貨が5か月連続、家具、生鮮食品が3か月連続、その他食料品が2か月連続のプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	－0.6	—	3か月ぶりマイナス
紳士服・洋品	－1.8	－0.1	3か月ぶりマイナス
婦人服・洋品	－4.9	－1.2	3か月ぶりマイナス
子供服・洋品	－5.2	－0.1	3か月ぶりマイナス
その他衣料品	－3.4	－0.1	3か月ぶりマイナス
衣料品	－4.2	－1.6	3か月ぶりマイナス
身のまわり品	1.6	0.2	3か月連続プラス
化粧品	－1.5	－0.1	8か月ぶりマイナス＊
美術・宝飾・貴金属	19.7	0.9	14か月連続プラス＊
その他雑貨	0.3	0.0	5か月連続プラス＊
雑貨	6.0	0.8	12か月連続プラス
家具	5.4	0.1	3か月連続プラス
家電	－4.1	0.0	4か月連続マイナス
その他家庭用品	－1.0	0.0	2か月連続マイナス
家庭用品	0.4	0.0	2か月ぶりプラス
生鮮食品	0.8	0.0	3か月連続プラス＊
菓子	－0.9	－0.1	3か月ぶりマイナス＊
惣菜	－0.5	0.0	3か月ぶりマイナス＊
その他食料品	0.6	0.0	2か月連続プラス＊
食料品	0.0	0.0	3か月ぶりマイナス
食堂喫茶	－2.5	－0.1	12か月ぶりマイナス
サービス	1.6	0.0	2か月ぶりプラス
その他	0.0	0.0	3か月連続マイナス
商品券	－6.5	－0.2	32か月連続マイナス

（注）化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

平成25年10月 東京地区百貨店売上高概況

平成25年11月19日

I. 概 況

1. 売上高総額	1,233億円余
2. 前年同月比	1.2% (店舗数調整後/3か月連続プラス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭1.1%(90.2%) : 非店頭2.6%(9.8%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 25店 (平成25年9月対比±0店)
5. 総店舗面積	875,636㎡ (前年同月比:-5.0%)
6. 総従業員数	19,123人 (前年同月比:1.0%)
7. 3か月移動平均値	3-5月 4.6%、4-6月 5.6%、5-7月 4.3%、 6-8月 4.4%、7-9月 2.3%、8-10月 3.3%

[参考] 平成24年10月の売上高増減率は-1.5% (店舗数調整後)

【10月売上の特徴】

- (1) 東京地区の入店動向は、台風の影響から概ね1%~2%減で推移したが、一部改装店舗や大型の集客催事を実施した店舗では、前年以上の入店客数を記録している。
- (2) 衣料品が前年を下回る状況の中、紳士服については、高級ラインの動きが良く客単価が上昇していることや、都内のほぼ全店でメンズ催事を積極展開したこともあり、比較的好調な結果(+3.5%)を残せた。
- (3) ラグジュアリーブランドが牽引する形で、身のまわり品の伸び(+3.8%)が続いているが、この背景には、最近の都内各店の改装で特選ゾーンの充実強化が図られた効果もある。
- (4) 美術・宝飾・貴金属(+26.8%)については、10か月連続で二桁増を続けるなど引き続き好調に推移している。その要因の一つに訪日外国人の増加があり、購買動向を分析すると、ハンドバッグや靴などの特選服飾雑貨、あるいは高級時計などの有名ブランドに人気が集中している。
- (5) 11月中間段階における東京地区の商況は、概ね7%前後の伸びで推移している。

【要 因】

- (1) 営業日数増減 31.0日 (前年同月比±0.0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数18店舗)
①増加した: 5店、②変化なし: 7店、③減少した: 6店
- (3) 10月歳時記(体育の日、旅行シーズン)の売上 (同上/有効回答数15店舗)
①増加した: 4店、②変化なし: 5店、③減少した: 6店

NEWS LETTER

東京地区百貨店 売上高速報 2013年10月

※店舗数調整後 ()が調整前

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	123,387,444	100.0	1.2 (0.6)
紳士服・洋品	12,629,359	10.2	3.5 (3.3)
婦人服・洋品	27,700,497	22.5	-1.4 (-2.0)
子供服・洋品	2,227,849	1.8	-4.6 (-4.8)
その他衣料品	2,650,487	2.1	-3.1 (-3.6)
衣 料 品	45,208,192	36.6	-0.3 (-0.8)
身のまわり品	17,127,066	13.9	3.8 (3.4)
化粧品	6,627,093	5.4	0.3 (0.1)
美術・宝飾・貴金属	7,936,867	6.4	26.8 (26.4)
その他雑貨	5,696,982	4.6	-1.7 (-1.8)
雑 貨	20,260,942	16.4	8.6 (8.3)
家 具	1,654,239	1.3	-0.1 (-3.7)
家 電	871,188	0.7	-6.2
その他家庭用品	4,105,756	3.3	0.5 (0.3)
家 庭 用 品	6,631,183	5.4	-0.6 (-1.6)
生 鮮 食 品	4,606,934	3.7	0.2 (-0.4)
菓 子	6,753,553	5.5	-3.1 (-4.1)
惣 菜	6,819,886	5.5	-3.2 (-3.9)
その他食料品	8,077,915	6.5	-3.1 (-3.4)
食 料 品	26,258,288	21.3	-2.6 (-3.2)
食 堂 喫 茶	3,007,030	2.4	-0.5 (-1.1)
サ ー ビ ス	2,361,341	1.9	-0.4
そ の 他	2,533,402	2.1	5.8 (0.2)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率 (%)
※

商 品 券	2,270,233 千円	-16.1 (-16.6)
従 業 員 数	19,123 人	1.0
店 舗 面 積	875,636 m ²	-5.0

営 業 日 数	31.0 日	前年	31.0 日
---------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目では、雑貨が8か月連続、身のまわり品が3か月連続のプラス。衣料品が3か月ぶり、食料品が2か月ぶり、家庭用品が2か月連続のマイナスとなった。また、化粧品が15か月連続、美術・宝飾・貴金属が10か月連続、紳士服・洋品、生鮮食品が3か月連続、その他家庭用品が2か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	1.2	—	3か月連続プラス
紳士服・洋品	3.5	0.4	3か月連続プラス
婦人服・洋品	－1.4	－0.3	3か月ぶりマイナス
子供服・洋品	－4.6	－0.1	3か月ぶりマイナス
その他衣料品	－3.1	－0.1	7か月ぶりマイナス
衣料品	－0.3	－0.1	3か月ぶりマイナス
身のまわり品	3.8	0.5	3か月連続プラス
化粧品	0.3	0.0	15か月連続プラス＊
美術・宝飾・貴金属	26.8	1.4	10か月連続プラス＊
その他雑貨	－1.7	－0.1	5か月ぶりマイナス
雑貨	8.6	1.3	8か月連続プラス
家具	－0.1	0.0	2か月連続マイナス
家電	－6.2	0.0	2か月ぶりマイナス
その他家庭用品	0.5	0.0	2か月ぶりプラス
家庭用品	－0.6	0.0	2か月連続マイナス
生鮮食品	0.2	0.0	3か月連続プラス＊
菓子	－3.1	－0.2	7か月連続マイナス＊
惣菜	－3.2	－0.2	2か月連続マイナス＊
その他食料品	－3.1	－0.2	2か月ぶりマイナス
食料品	－2.6	－0.6	2か月ぶりマイナス
食堂喫茶	－0.5	0.0	12か月ぶりマイナス
サービス	－0.4	0.0	2か月連続マイナス
その他	5.8	0.1	3か月ぶりプラス
商品券	－16.1	－0.4	30か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・佐藤・西田まで
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>